

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【与野八幡小学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	「児童の主体的に学習に取り組む力の育成」 「自ら学びを広げ、深めることができる児童の育成」 【目指す児童像】 ・自分の学習の理解度を判断し、自分にあった学習の仕方を選択して学ぶ児童 ・学習したことを基に、新たな課題を見出し、調べたり試したりする児童 ・様々な人と協力しながら、問題を解決したり考えを共有・表現したりして学ぶ児童
実施する学力向上策 【時期・頻度】	・1人1台端末を活用し、児童の振り返り等を基に「さいたま市アクティブ・ラーニング型授業」、学びのポイント「じ・しゃ・く」を意識した児童 主体の授業を実施し、成果と課題を共有する。【学期1回】 ・スクリーンショット等を活用した学びの振り返りを実施したり、ルーブリック評価を活用し、児童が学習のめあてを自己決定して、主体的 に学習に取り組む機会を設定したりする【単元ごと】 ・ねらいを明確にした協働的な学びの場を設定し、仲間と考えを交流する中で学びをさらに深めることができるようにする。【単元ごと】 ・自分の考えや学んだ成果を、相手に伝えるように状況に応じて適切な方法を選択して、児童が表現する機会を設定する。【単元ごと】

⑤	年度末評価
学力向上策の 実施状況	評価(※)
今年度の成果と 次年度の課題	1 結果分析(管理職・学年主任等) 2 詳細分析(学年・教科担当) 3 分析共有(児童生徒の実態把握)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	1 調査の振り返り(4月) 2 調査結果の分析(5月)
結果から考えられる 児童生徒の実態	1 学校全体での取組 2 単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 3 調査問題を活用した授業

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	1 学校全体での取組 2 単元テスト・定期テスト 等の分析・活用
結果から考えられる 児童生徒の実態	3 中間評価を経ての取組 4 調査結果を活用した授業

③	中間評価
学力向上策の 実施状況	評価(※)
学力向上策の 見直し	1 調査結果分析(7月) 2 結果分析(管理職・学年 主任等) 3 児童生徒の実態把握 4 職員研修等

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)